

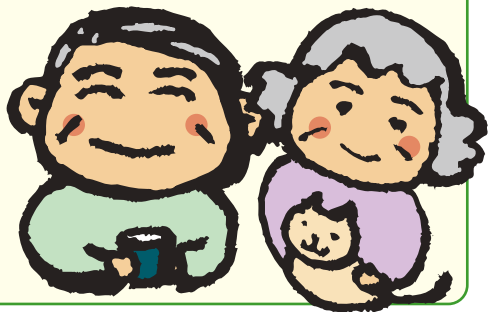


局長コラム 『おとしよりに学ぶ』

10数年前、ボランティア情報誌を作成したことがありました。ボランティアにかかる需要と供給の橋渡しを目的とし、現にボランティア活動に従事する5名の皆さん(公募)を中心として、幾度となく編集会議や現地調査を行いながら作成しました。その過程の中で私が感じたのは、ボランティア活動は、する側から受ける側へ何かを一方向的に提供するものではなく、する側自身がその活動の中で多くのことを受け取ることで、いわば「相互通行」の活動であるということでした。

実は、地域包括支援センターの仕事も、おとしよりの皆さん等との相互通行なくしては成り立たないと、私は考えています。例えば、相談者の課題を把握しその解決に向け支援する。一見すれば、「する」「受ける」の関係ですが、職員にとって、日々のおとしより等との関わりそのものが貴重な経験として自身の中に蓄積され、成長の糧となります。感謝の言葉が明日への活力となるかもしれません。おとしよりと接することで、私たちは非常に多くのことをおとしよりから得ています。人間同士の相互作用を通して、私たちは日々成長しているのです。

「おとしよりに学び、おとしよりと共に在る」。そうした気持ちを自然に体现することができれば、日々の仕事も変わっていくのではないのでしょうか。職員全員が、そうしたことを当たり前のこととして受け止め、仕事に取り組むことのできる地域包括支援センターに一日も早く近づきたいと心深く願っています。



県社会福祉協議会からのお知らせ

「地域福祉権利擁護事業」の名称変更について
～認知症高齢者・障がいのある方のくらしの安心をお手伝い～

旧名称 **地域福祉権利擁護事業**



平成21年4月より

新名称 **日常生活自立支援事業**

に変わりました。

社会福祉協議会では、認知症高齢者・障がいのある方などを対象として、福祉サービスの利用や生活に必要なお金の出し入れ等を公的な制度でお手伝いする「地域福祉権利擁護事業」を実施していますが、その事業名称を平成21年4月より「日常生活自立支援事業」に変更いたしました。

なお、事業の内容については、従来の「地域福祉権利擁護事業」と変更ありませんので、ご理解くださいますようお願いいたします。

【申込み・相談先】お住まいの市町村社会福祉協議会または
福島県社会福祉協議会 地域福祉課 TEL **024-523-2442**

第二・四
木曜日 BA-BAフラワー会
◇10:00~12:00
◇常磐公民館

地域・年齢層問わず随時参加者募集中です!!
興味のある方なら誰でも参加可

元々は編み物サークルで立ち上がりました。具体的は何をするかは参加するみなさんと話し合っています。今まで、折り紙で斑作り、軍手人形作り、あんでるせん手芸を行いました。現在約10名程参加しています。

お問い合わせ
常磐・遠野地域包括支援センター
TEL **0246-43-2151**

傾聴ボランティア「みみ」のご案内

「傾聴ボランティア」とは、お一人暮らしや障がいをもった高齢者の方のお話を“心を傾けながら”お聴きするボランティアです。ご興味がある方は下記までお問い合わせ下さい。(当面は勿来地区に限ります。)

いわき傾聴ボランティア「みみ」事務局
錦町大島1番地(勿来地区社会福祉協議会内)
TEL **0246-63-2111**(内線:5381)

感想募集欄 結いのご感想お待ちしております

NPO法人地域福祉ネットワークいわきでは、皆様の声にあった情報をお伝えできるよう、ご意見ご感想を受け付けております。「こんな記事を書いて欲しい」、「こんなことが聞きたい」など教えてください。

E-mail: yui@npo-fukushinetiwaki.com ←こちらで受け付けています。

地域福祉ネットワークいわき

ホームページのご案内

是非ご覧ください!

<http://npo-fukushinetiwaki.com/>

地域福祉ネットワークいわきでは、ホームページを公開しております。以下のアドレスにアクセスしてください。

会員募集

特定非営利活動法人地域福祉ネットワークいわきでは、地域福祉に対するご意見、ご提案等をお寄せ下さい。

■お問い合わせ/ 特定非営利活動法人 地域福祉ネットワークいわき
〒973-8404 いわき市内郷高坂町四方木田191
TEL **0246-27-2101** (事務局まで)

種別	対象
正会員	法人の目的に賛同し、運営に参画する個人及び団体
賛助会員	法人の目的に賛同し、協力又は援助する個人及び団体
協力会員	法人の目的に賛同し、各種活動に協力する個人及び団体

第2号もなんとか発行にこぎつけ、ほっとしながら書いています。7月と11月、年に2回の発行も決まり、皆様によりよい記事を紹介できるように、気持ちを新たにしております! 21年度も3ヶ月目に入り、新体制も本始動を開始です。今回のテーマは昨年度の活動報告になりますが、毎年、要支援認定者や特定高齢者数等の増加や権利擁護に関する相談、対応等の増加も顕著に現れてきており、高齢者の皆さんを取り巻く情勢も日々変化しております。その中で地域包括支援センターがいかに役割を果たしているか、今年度もまい進して行きたいと思っております。(S.U)

編集後記

平成21年07月1日

2009
第2号
7月

発行:NPO法人 地域福祉ネットワークいわき
編集:NPO法人 地域福祉ネットワークいわき広報委員会
〒973-8408
福島県いわき市内郷高坂町四方木田191番地
TEL.0246-27-2101 FAX.0246-27-2105

結い

NPO法人地域福祉ネットワークいわき

あなたを包む優しい光になりたい...

平成20年度地域包括センター活動報告

「NPO法人地域福祉ネットワークいわき」は、地域包括支援センターの運営を通し、おとしよりの暮らしと健康の充実を目指し活動を続けています。今回は、当法人で運営するいわき市内7つの地域包括支援センターにおける、平成20年度の業務内容についてまとめてみました。

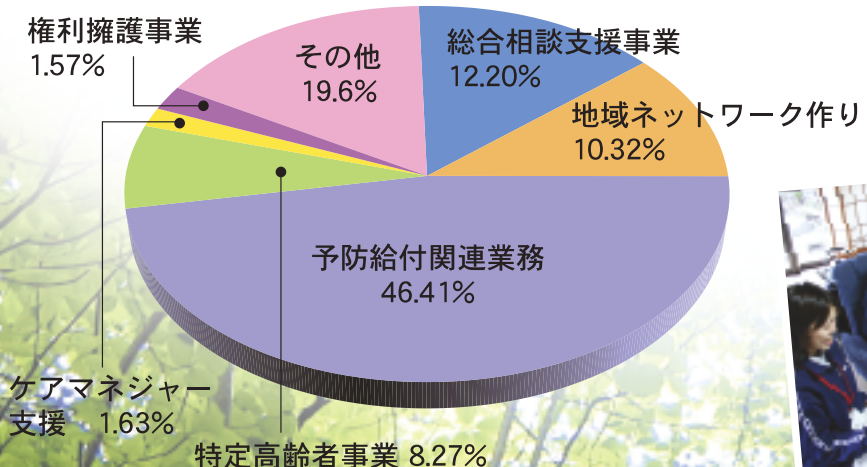
地域包括支援センターがおこなう地域支援業務には以下の4つがあり、「相談、予防、調整・連携、権利擁護」という4つのファクターを、1つの機関が包括的に支援(コーディネート)していくという役割を担っています。



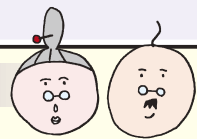
- ①高齢者の皆さんの日常生活における様々な相談等に関わる総合相談支援事業(おとしより何でも相談所)
- ②要介護とならないための介護予防事業
- ③ケアマネジャーさんの仕事への協力・支援を行う包括的・継続的ケアマネジメント支援
- ④高齢者虐待の防止や成年後見制度利用支援などの権利擁護事業

センターとして、職員として、求められている役割・機能が果たしているかを謙虚に振り返り、反省や課題を今年度の活動に活かしていきたいと思っております。

平成20年度の業務全体の割合



平成20年度地域包括支援センター活動状況



①地域の連携づくり

	H19年度	H20年度
業務全体に占める地域ネットワーク作り事業の割合	5.72%	10.32%

※様々な相談に適切に対応できるよう地区保健福祉センター、介護保険関係者、地域関係者等との連携の充実に努めています。

②介護予防事業(予防給付・特定高齢者のマネジメント)

■介護予防ケアプラン作成実績(給付管理実績)

	H19年度	H20年度
事業所委託	15,014件	14,781件
うち新規	600件	661件
包括直営	10,518件	11,539件
うち新規	430件	406件
合計	25,532件	26,320件
うち新規	1,030件	1,067件

*介護保険要支援1および2の認定者に対するケアプラン
*総数では788件増となっています。

■特定高齢者事業

	H19年度	H20年度
特定高齢者数(※1)	2,733人	2,868人
事業(※2)利用者数	298人	419人
利用延べ人数	342人	472人

・(※1)特定高齢者⇒要支援・要介護となる可能性の高い高齢者
・(※2)いわき市介護予防事業⇒運動器の機能向上「転倒・骨折予防教室」/栄養改善・口腔機能向上「お口と栄養バイタルアップ教室」/すこやか支援(閉じこもり・認知症・うつ予防)の支援

*平成20年度の事業利用者数は419人と、平成19年度の約1.4倍でした。

③ケアマネジャーへの支援

ア.各地区で、いわき市介護支援専門員連絡協議会と連携し、地区内のケアマネジャー等を対象とした情報交換会や勉強会等を開催しました。(開催回数:48回、参加者延べ数:880人)
イ.ケアマネジャーからの個別相談は、小規模事業所で仕事をする方から多く寄せられる傾向にあります。これまでの相談事例を集約し、適切に対応できるようマニュアル作りに取り組んでいます。

④権利擁護事業

	H19年度	H20年度
虐待相談件数	64件	84件
成年後見相談件数	45件	46件
合計	109件	130件

*相談件数は増加しています。引き続き様々な場面で、高齢者の権利擁護に向けた広報・啓発に努める必要があります。

平成21年度通常総会報告

5月28日(木)に、いわき市健康・福祉プラザにて平成21年度通常総会が開催され、全ての議案を承認しました。(議長 本田隆光さん)

【主な質問・意見と回答】

Q パンフレットを全戸配布してはどうか?

A 市と協議するなど検討したい

Q 管理者の研修は考えているか?

A 平成21年度から実施したい

Q 顧問弁護士を雇う考えはあるか?

A 今後の権利擁護事業の展開と併せ検討したい

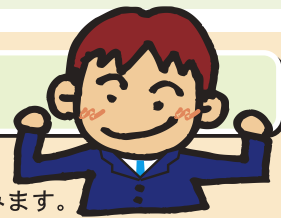
Q 地区社会福祉協議会との連携を密にしたい

A お互いに協力していきたい



平成21年度事業計画

- 引き続き、地域包括支援センターの適正運営に全力を挙げます。中でも、広報活動、関係機関との連携、専門性の向上、評価のしくみづくり等に重点的に取り組めます。
- 職員一人一人が役割を常に自覚し、熱意と誠意を持って日々の業務に取り組めるよう、組織・体制の確立を図ります。
- 高齢者や障がい者等が地域で暮らし続ける上での課題を明らかにするとともに、法人独自事業について検討します。



クローズアップ 2008

平成20年度における、各地域包括支援センターが力を入れて取り組んできた活動についてご紹介します。

小名浜地域包括支援センター TEL:0246-53-4760 ~ケアマネジャー交流会~

小名浜地区では、3ヶ月に1度ケアマネジャー交流会を開催しています。3月には、小名浜管内ケアマネジャー31名参加の下、『有料老人ホーム及び高齢者向け有料賃貸住宅についての情報共有』をテーマに話し合いました。今まで入居希望があっても、各施設の特色を十分に伝えることができず苦勞しているとの声が多く寄せられていたため、管内全施設へ出向き、聞き取り調査を行った上、情報をまとめました。交流会では、調査報告を行うとともに、出席者からの利用状況等の情報提供を交えることで、個々の知識を深め、今後の支援に活かせる有意義な会となりました。



常磐・遠野地域包括支援センター TEL:0246-43-2151 ~地域福祉座談会~

地域を選定し、集会所を拠点に「地域福祉座談会」を開催しました。(平成20年度3地域×各4回)
この取り組みにより、地域住民をはじめ自治会、婦人会、老人会、介護保険施設などが地域の課題を共有し、繋がりました。その結果、お互いの連携が深まり、自発的に協力して地域に支え合いを築こうとする動きがみられるようになりました。



四倉・久之浜大久地域包括支援センター TEL:0246-32-2115 ~ネットワーク作り~

4つの業務を基本としながら、センター広報に力を入れてきました。具体的には、四倉・久之浜大久地区の高齢者の集いで消費者被害啓発活動を含めた包括PR、一人暮らし高齢者・高齢者世帯への消防署との同行戸別訪問時の包括紹介、地域内の要援護高齢者を把握するためのネットワーク作りの一環として、地区内の医療機関・薬局・金融機関などへの訪問・広報活動、各地区の民生児童委員さんと連携しての高齢者支援を通しての周知活動などを実施しました。今後も地区関係者の皆様のご協力を頂きながら、これらの活動を拡大し、包括センターがより皆さんに身近に感じていただけるような努力を続けていきたいと思っています。



平地域包括支援センター TEL:0246-22-1174 ~地域との連携(平窪地区)~

平地区には、平窪公民館を拠点として活動する「平窪ふれあい会」があります。気軽に体操やおしゃべりを楽しむ場・機会が欲しいという、地域の方の声を基に、自主活動グループとしてスタートしました。ボランティアさんの協力や市の出前講座などを利用しながら、体操や手芸などのほか、救急救命教室を行うなど、内容はさまざまです。また、同じ平窪地区において、地域ケア会議を開催しており、高齢者の「あんしん見守りネットワーク活動事業」について、話し合いを進めています。今後は、より小さなエリアごとに、具体的な実践方法の検討を行う予定です。



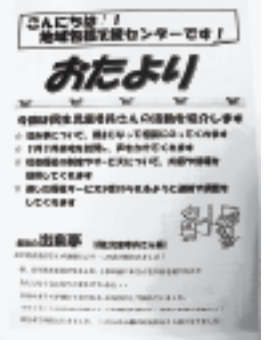
勿来・田地域包括支援センター TEL:0246-63-2140 ~みちくさ処の活動~

地域ネットワークづくりの取り組みとして、地域関係者と連携しながら「みちくさ処」を勿来地域3箇所(関田・植田・窪田)で実施しております。その実践からさまざまなサポートのネットワークが生まれてきています。地域の課題や地域の人々の暮らしの様子が把握でき、問題解決のための協働活動が可能になってきています。



内郷・好間・三和地域包括支援センター TEL:0246-27-8660 ~戸別訪問活動~

内郷・好間・三和地域包括支援センターでは地域の単身・高齢者世帯を訪問し、おたよりを配布しています。おたよりの内容は季節に合った情報や最近あった出来事(消費者被害etc)です。地域の事業参加時や民生児童委員さんへも配布し話題を提供しています。年4回発行予定しています。



おたより(5月発行)

小川・川前地域包括支援センター TEL:0246-83-1411 ~行政との連携~

<いきいきデイクラブ>に同行して包括支援センターの紹介・介護保険制度の説明を行い、また、特定高齢者把握のために参加者に基本チェックリストの記入を勧めるなど、ご近所の気になる高齢者の状況把握に努めました。参加により、地域の特色や参加者の生活状況や不安を聞くことができました。<生き生き健康相談>は、小川・川前地区保健福祉センターの保健係が実施しており、包括支援センターも春と秋の年2回、小川・川前地区を巡回し、地域の方々の集まる機会として生きがいがづくり・仲間づくり・健康づくりのお手伝いをしてあります。

